

奨励賞

○設計者

山下保博

- 東京建築士会
- (株)アトリエ・天人



○専用住宅

A-ring

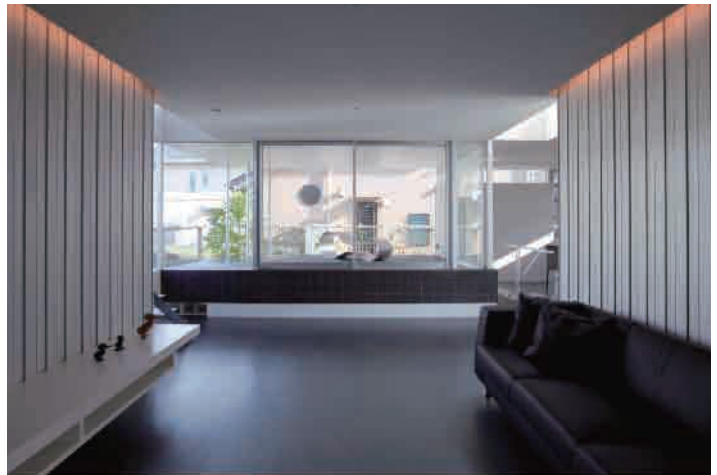
- 石川県金沢市

選評

アルミニウムを主構造とする環境共生住宅の理屈はともかくとして、設計者の住宅設計に投じられているエネルギー、知識の総量は凄惨極まる感がある。初期の日本の小住宅設計の成果は、増沢洵の最小限住宅や池辺陽の小住宅の連作によく示されている。1950年代の試みは唯物論的思考をベースにしている、それが新鮮でもあり当時のファッションとして都市中間層の知識人に受け入れられた。今、21世紀の初頭、小住宅ファッションの主傾向はアメリカ民主主義的消費の流れの中にある。よく考え抜かれ精錬されたデザインの家に住み、ユニクロのシャツやパンツを着用し、自然食主体の食生活をしていれば、それは50年代のアメリカの郊外生活、ブロンディの生活の少しばかり進化した鏡像でもあろう。それゆえに凄惨極まる努力と言う。

A-ringをそのような枠組みの中で捉えるのは容易だが、しかしここには新鮮な感性もまた感じられるのである。外構のデザイン、2階フラットルーフ上の薄っぺらな人工の線の構造の自然愛好癖の如きモノ。これは貴重である。この自然との演技的共生はじつに出色である。この一点に焦点を絞る営為を続けたら、多くの地球型市民の共感が得られるのではなかろうか。

(石山修武)



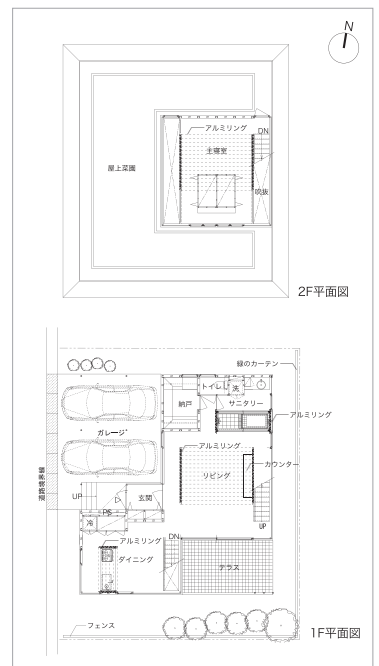
A



B

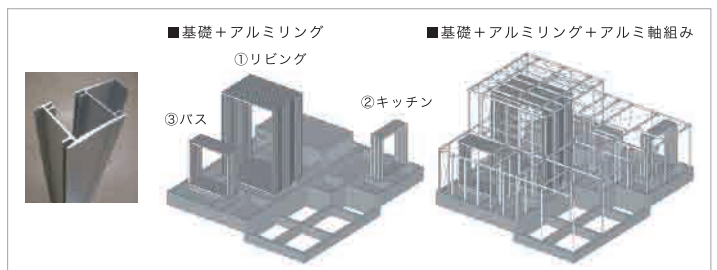


C



- A : リビングからテラスを見る
- B : 主寝室。中央のボックスは収納
- C : 屋上緑化、屋上菜園
- D : 外観

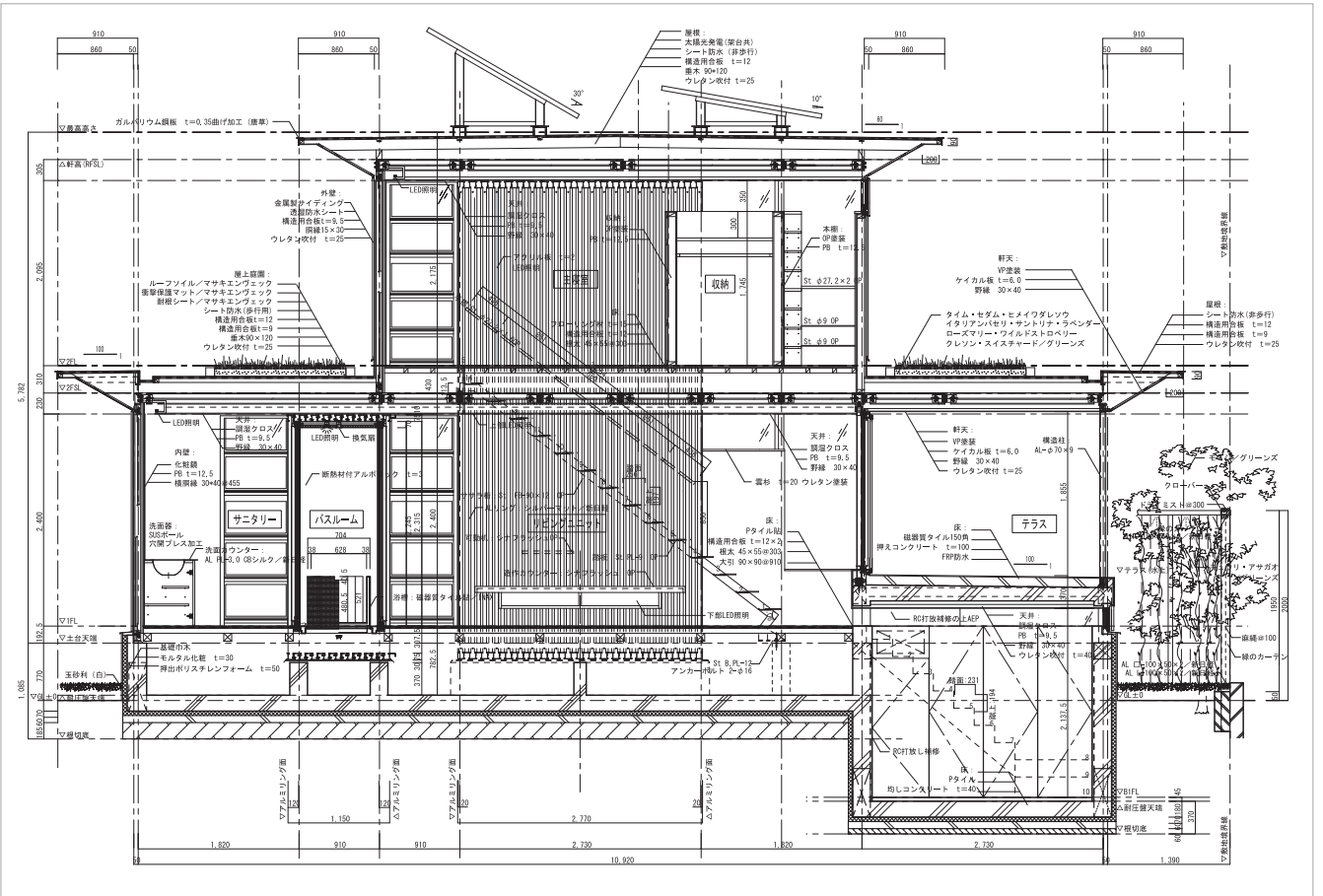
平面図



アルミの断面形状と、アルミリングを用いた構法を示すダイアグラム



D



矩計図

- 構造・階数：アルミニウム合金造+一部RC造、地上2階建、地下1階
- 敷地面積：178.22㎡ ● 建築面積：104.34㎡ ● 延床面積：111.16㎡ ● 竣工：平成21年7月23日